

浸水被害低減効果一覧

令和8年8月12日 レベル3大雨警報（台風15号）

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量（㎡）	貯留量（㎡）	貯留率（％）
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	3,518	1%
② 小机千若雨水幹線	緑、神奈川	ポンプ排水	256,000	54,058	21%
③ 新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	2,000	2%
⑥ 飯島雨水調整池	栄	ポンプ排水	15,600	4,318	28%
⑦ 蒔田雨水調整池	南		22,000	1,580	7%
⑧ 江川雨水調整池	都筑		17,000	2,320	14%
⑨ たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	1,050	15%
⑩ 金井雨水調整池	栄		6,000	980	16%
⑪ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	6,800	13%
⑫ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	1,230	6%
⑭ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	770	1%
⑯ 戸部雨水幹線	西		11,000	1,370	12%
⑰ 万世雨水幹線	中、南		21,000	20,250	96%
⑳ 初音雨水幹線	南		7,500	600	8%
㉑ 二俣川1号雨水幹線	旭		13,000	10	0%
合 計			—	100,854	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量（㎡）	貯留量（㎡）	貯留率（％）
③ 今井川地下調節池	保土ヶ谷	ポンプ排水	178,000	950	1%
④ 舞岡川遊水地	戸塚	ポンプ排水	55,200	3,290	6%
⑩ 阿久和川遊水地	瀬谷		27,900	1,740	6%
合 計			—	5,980	—

総 計			—	106,834	—
-----	--	--	---	---------	---

25mプールで換算： **285** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m＝375㎡

- 1
- ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。

また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。

ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- 2
- その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。

※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 3
- 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。